

健康危機管理論

ナンバリング:N3-S2-K05

| | | | |
|--------------|----------------------|--------|--------|
| 責任者・コーディネーター | 地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授 | | |
| 担当講座・学科(分野) | 地域包括ケア講座、災害・地域精神医学講座 | | |
| 対象学年 | 3 | 区分/単位数 | 講義/1単位 |
| 期間 | 後期 | | |

・学修方針(講義概要等)

健康危機管理の理念・目的、対象となる分野、関係する法律の内容の理解をし、災害や感染症・虐待などの健康危機に応じて、予防から発生に備えた準備・発生時の対応から回復期までの支援内容と保健師の役割について、演習も含め実践的に学修する。

・教育成果(アウトカム)

災害、感染症、虐待に対する健康危機管理方法を学ぶことで、個人/家族、地区/小地域、保健師の所属する組織の健康状態に危機的状況が起こる場面に応じた、保健師としてのリスクマネジメント、支援のあり方を理解することができる。また、健康危機管理時の対策や地域保健活動を円滑に行うための体制づくり・ケアの質向上の方策についても考えることができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

| | |
|---|---|
| 6 | 災害等の危機的状況においてもできるかぎり平常時と同様のケアを提供できるような構想力を身につける。 |
| 7 | 保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。 |
| 8 | コミュニティにおいて、医療職福祉職以外の人や機能と連携し、健康上の課題の解決に向けたネットワークが形成できるように看護職者の地域活動の機能を理解する。 |

・到達目標(SBO)

- 健康危機管理の各分野における健康課題を説明できる
- 各分野における保健活動の展開方法を説明できる
- 健康危機に対する発生、健康危機からの回復に向けた支援方法を検討できる
- 対象者を支援するために必要な多職種・多機関を説明できる
- 感染症予防に関する支援方法を説明できる

・授業日程

【講義】

会場： マルチ4-A講義室

| 月日 曜日 時限 | 授業内容/到達目標 | 担当教員 |
|----------------|---|----------------------|
| 9/8 火 1限 | 【授業内容】健康危機管理・リスクマネジメント ・健康危機管理の定義・分類を説明できる ・リスクコミュニケーション等リスクマネジメントの過程を説明できる ・災害保健医療チームの活動展開を理解し、受援、応援の必要性を説明できる ・感染症における健康課題と対策(法律・施策)を説明できる 【関連するSBO】1、4 【事前学修:90分】 ・災害保健医療チームの目的、構成メンバー、活動内容を調べる ・感染症の動向と感染症の種類(感染症法に基づく分類)を復習する 【事後学修:120分】 健康危機管理に関する課題を行い、疑問点を調べる | 地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授 |
| 9/8 火 2限 | 【授業内容】感染症保健活動1 ・感染症に罹患している人々の生活障害の特性や課題に応じた支援方法を説明できる ・平常時の感染症予防活動を説明できる ・感染症集団発生時の保健活動を説明できる(グループワーク) 【関連するSBO】2、3 【事前学修:90分】 感染症法に基づく支援の流れを復習する 【事後学修:120分】 感染症保健活動に関する課題を行い、疑問点を調べる | 地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授 |

| | | |
|-----------------|---|----------------------------|
| 9/8 火 3限 | 【授業内容】感染症保健活動2 ・結核患者の動向と感染症法による結核対策の体系を説明できる ・結核発生時の保健活動を説明できる(グループワーク) ・DOTSの目的・実施方法を説明できる 【関連するSBO】 2、3、4 【事前学修:90分】 結核患者の動向を調べる 【事後学修:120分】 結核患者への支援の流れを復習する | 地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授 |
| 9/10 木 3限 | 【授業内容】災害保健活動1(グループワーク) ・フェーズ毎に個人/家族や地区/小地域に生じる生活課題と健康課題に対する保健活動の方法を説明できる 【関連するSBO】 1、2 【事前学修:90分】 フェーズ毎に生じる保健医療福祉のニーズと課題を調べる 【事後学修:120分】 災害時に起こりやすい健康課題と指導のポイントを整理する | 地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授 |
| 9/10 木 4限 | 【授業内容】災害保健活動2(グループワーク) ・避難行動要支援者の把握や支援計画、訓練、マニュアル作成、普及啓発方法等の対策について説明できる ・災害発生時の都道府県および市町村保健師の役割について説明できる 【関連するSBO】 2、3 【事前学修:90分】 フェーズ毎の市町村、保健所、都道府県のマネジメントの要点をまとめる 【事後学修:120分】 災害保健活動に関する課題を行い、疑問点を調べる | 地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授 |
| 9/15 火 3限 | 【授業内容】感染症予防の健康支援(グループワーク、発表) ・地域の感染症流行状況を基にして、対象者のライフスタイルや健康課題関連情報をアセスメントし、感染症の予防のための支援方法を提案できる 【関連するSBO】 1、5 【事前学修:210分】 グループに割り当てられた対象者に対して、支援方法を説明できるように調べ、企画書等を提出する | 地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授 |
| 9/15 火 5限 | 【授業内容】災害精神保健医療活動 ・災害各期の地域精神保健医療活動の特徴を説明できる ・東日本大震災の被災地で展開する包括的なこころのケア活動や、災害精神医療活動(DPAT)などの災害精神保健医療活動の方法を説明できる 【関連するSBO】 2、3、4 【事後学修:210分】 災害各期の地域精神保健医療活動の要点をまとめる | 災害・地域精神医学講座 赤平 美津子 特命助教 |
| 9/16 水 1限 | 【授業内容】児童虐待予防と事例対応の実践 ・児童虐待の発生状況を把握し、アセスメントすることができる ・虐待予防を目的としたネットワークや保健師の活動を理解し、保健師の役割を考え深めることができる 【関連するSBO】 2、4 【事前学修:60分】 虐待に関連した法制度と動向、早期発見が可能な市町村の母子保健活動について調べる 【事後学修:210分】 健康危機管理時の保健活動で保健師の役割で考えたことをまとめて提出する | 地域包括ケア講座 岩淵 光子 教授 |

・教科書・参考書等

| | 書籍名 | 著者名 | 発行所 | 発行年 |
|---|--------------------------------------|-------------|-----------|------|
| 教 | 標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動 第5版 | 中谷芳美 他 | 医学書院 | 2024 |
| 教 | 国民衛生の動向2025/2026 (『厚生指標』臨時増刊第72巻第9号) | 厚生労働統計協会 編 | 厚生労働統計協会 | 2025 |
| 参 | 公衆衛生看護学.jp 第6版 データ更新版 | 鳩野洋子 他編 | インターメディカル | 2026 |
| 参 | 公衆衛生が見える2026-2027 第7版 | 医療情報科学研究所 編 | メディックメディア | 2026 |

・成績評価方法

| | | | | | | | | |
|--|-----|------|------|----|----|----|-----|-----|
| 【総括的評価】 定期試験80%および指定した課題20%の合計100%で評価する。 【形式的評価】 各回の講義において、振り返りシート提出を求め、学修の成果を確認する。 適宜、講義時に小テストを実施し、学修状況ならびに理解度を確認する。なお、小テストの点数は成績には反映しない。 | | | | | | | | |
| DP | SBO | 小テスト | 定期試験 | 課題 | GW | 実技 | その他 | 合計 |
| 6~8 | 1~5 | | 80 | | | | | 80 |
| 6 | 5 | | | 20 | | | | 20 |
| 合計 | | 0 | 80 | 20 | 0 | 0 | 0 | 100 |
| 〈備考〉 | | | | | | | | |

・特記事項・その他

| |
|---|
| <p>【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適宜、WebClassに授業中に解説した資料等を掲載するので確認すること。 ・課題は期日までにWebclassへ提出すること ・レスポンスカード等については、次の授業等で適宜コメントを伝える等、学生にフィードバックする。 <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】</p> <p>保健師(別表1):公衆衛生看護学 公衆衛生看護管理論</p> <p>【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】</p> <p>当該科目に関連する実務経験の有無 有</p> <p>地域における保健師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を事例を交えて行う。</p> |
|---|

・授業に使用する機器・器具と使用目的

| 使用区分 | 機器・器具の名称 | 台数 | 使用目的 |
|------|------------------------|----|-----------|
| 講義 | プロジェクター(VPL-FWZ60) | 1 | 講義用スライド投影 |
| 講義 | 書画カメラ(P-100) | 1 | 講義時資料投影 |
| 演習 | DVD(ブルーレイおよび一般DVD)再生機器 | 1 | 講義用資料投影 |